

平成19年度 国立赤城青少年交流の家企画事業 開催要項

# 青少年自立支援者のための研究協議会

～ 体験から学び主体的に人生を生きることをめざす支援～

趣 旨	生活体験・自然体験等をとおして、青少年の自立に取り組んでいる支援者及び自立支援に関心を有する人々を対象に、先進的な事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ研修、課題解決に結びつく情報の提供等により、自立支援者の資質向上と支援者同士の交流を図る。
主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家 「青少年自立支援者のための研究協議会」実行委員会 【実行委員(50音順)】穴澤剛行(ふるさと自然塾代表), 北川健司(NPO 法人エヌエスネット理事長), 木村元思((社)葛巻町畜産開発公社くずまき高原牧場), 榊原典俊(社会福祉法人青葉仁会理事長), 佐々木豊志(くりこま高原自然学校代表), 新堂早代(NPO 法人BIG TREE 代表), 鈴木基司(小児科医みどりクリニック院長), 高橋みかわ(「自閉症児のサポートブック」著者), 難波克己(玉川大学学術研究所准教授・心の教育実践センター主任代理), 西村仁志(同志社大学大学院 総合政策科学研究科准教授), 宮川治樹(帝塚山大学心理福祉学部心理学科准教授)
協賛団体	株式会社日能研, 社会福祉法人青葉仁会, 株式会社モンベル, 株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン, くりこま高原自然学校
後 援	群馬県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・長野県の各県教育委員会, 富士見村教育委員会, 玉川大学学術研究所, (財)日本知的障害者福祉協会, 上毛新聞社, NHK前橋放送局, 群馬テレビ, エフエム群馬
開 催 日	平成20年2月22日(金)～2月24日(日) <2泊3日>
対 象	青少年の自立支援者及び自立支援に関心のある社会人・学生(大学生・短期大学生・専門学校生等)・高校生
会 場	国立赤城青少年交流の家
定 員	100名(定員になり次第, 締め切らせていただきます)
講 師	【分科会講師(50音順)】

【オープニングトーク】難波克己氏(玉川大学学術研究所准教授・心の教育実践センター主任代理)

【基調講演】辰野 勇氏(株式会社モンベル代表取締役社長)  
片山右京氏(元F1ドライバー, 登山家, TeamUKYO 代表)  
榊原典俊氏(社会福祉法人青葉仁会理事長)

#### 【分科会】

- ・青木高志氏(鳥取県立米子養護学校高等部教諭)
- ・神澤 創氏(帝塚山大学心理福祉学部教授)
- ・小西浩嗣氏(帝塚山大学心理福祉学部非常勤講師)
- ・辻村徳治氏(神戸家庭裁判所主任家庭裁判所調査官)
- ・降矢英成氏(赤坂溜池クリニック院長)
- ・三谷嘉明氏(名古屋女子大学家政学部教授)
- ・山下雅彦氏(福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科講師)
- ・荻野ます美氏(NPO 法人ゆう副理事長)
- ・木寺 乃氏(あおはに自然学校職員)
- ・塚原俊也氏(くりこま高原自然学校職員)
- ・中谷徳明氏(あおはに自然学校職員)
- ・黛 徳男氏(アドベンチャー集団 DO! 代表)
- ・峯崎友香理氏(「馬の学校」代表)

【ナイトセッション】穴澤剛行氏(ふるさと自然塾代表)

【全体会】西村仁志氏(同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)

【ふりかえり】佐々木豊志氏(くりこま高原自然学校代表)

## &lt; 分科会 &gt;

**知的・発達障害について...**「自閉症疑似体験，だからこそその支援」：荻野ます美氏，穴澤剛行氏  
自閉症をはじめとする広汎性発達障害は，症状や程度が各々違い，障害が具体的に見えないため理解されにくい。疑似体験からわかる当事者の困り感，大変さとは何か。また，そこから見えてくる支援のありかとは？

**不登校・ひきこもりについて...**「『不登校』や『ひきこもり』状態を考える」：神澤創氏，鈴木基司氏  
「自然体験」活動に限らずさまざまな場で「不登校」や「ひきこもり」状態となっている子に出会うことが少なくありません。そのような状態の背景や対応について，互いの考えや体験を出し合い，自らの関わりに厚みを加えられたらと思います。

**非行・反社会行為について...**「反社会的行為の現状を分析し，行為に及ばせない支援の方法を考える」  
：辻村徳治氏，佐々木豊志氏  
軽度発達障害が原因で，社会に上手く関われない状況の中で反社会的な行為，いわゆる犯罪に及ぶ場合がある。これらの現状を分析し，犯罪に至らせないための療育の方法や社会制度などを考えます。

**そもそも自立支援とはなにかについて...**「発達の視点からみた自立とは」：三谷嘉明氏，榊原典俊氏  
「自立」という言葉に触れない日はない，と思えるほどの今日この頃であるにもかかわらず「自立とは」となると，解釈は人それぞれと言わざるを得ない。自立を語る上で共通語として成り立つ「自立の概念」を考えてみたい。

**自然体験施設運営について...**「支援をする自然体験施設の運営を考える」  
：黛徳男氏，中谷徳明氏，塚原俊也氏  
具体的な支援を実践するために体験の場をつくることが求められている。さらに自然体験や冒険体験を活用して支援するためには，考慮しなければならない事項もある。人材，施設，資金など運営について考えます。

## &lt; 分科会 &gt;

**動物介在活動について...**「馬の学校とイルカ介在活動」：峯崎友香理氏，宮川治樹氏  
馬やイルカなどの日常生活では馴染みの少ない動物とのかかわりが，子どもの成長にどのように役立つのか，動物とのかかわる事にどのような効用・効果が期待できるのか，実践事例をとおして考えたいと思います。

**自然活動と発達支援について...**「なんでもやってみるチャレンジ体験」：新堂早代氏  
「自然体験活動から学ぶ障害(児)者の支援活動」：中谷徳明氏  
「カヌーをつうじて自立への取り組み」：木寺乃氏  
知的障害，自閉症など発達に問題のある人達に自然体験をつうじて成長につながる支援を考える。

**食育について...**「心を育む食育の可能性」：黛徳男氏，木村元思氏  
私たちをとりまく食環境のめまぐるしい変化にともない，食習慣の乱れが関連した心と体の健康問題が生じている。今，本当に必要とされている食育とはなにか，本物の食材を使用した野外での食体験をつうじて考えます。

**アドベンチャー・カウンセリングについて...**「アドベンチャー・グループカウンセリング」：難波克己氏，小西浩嗣氏  
個人とグループの成長を促すために必要な関係の持ち方や，環境のあり方を考える。アドベンチャーを単に身体面の活動と捉えるだけではなく，個が自己の殻を破り，社会と健康的に関わっていくために大切な心の要素について考え，また，様々な成長に向けての関わり方について討議を展開する。

**自然体験活動の効果測定・評価について...**「自然体験活動の効果測定・評価」  
：降矢英成氏，山下雅彦氏，北川健司氏  
自然体験活動が青少年に及ぼす効果，効果測定の実践例を発表します。参加者とともに効果は実感しているがデータとしてどう扱うかについて考えます。この分野に興味のある方に参加いただきたい分科会です。

**発達障害について...**「自閉症の身体的(感覚)の基礎知識と自閉症児のスノーキャンプ」  
：青木高志氏，高橋みかわ氏  
自閉症の方に接する際に知っておきたい身体的(感覚)の基礎知識とは？事前情報の共有から one on one の支援を！！  
くりこま自然学校で行われた，知的に重いカナータイプの自閉症児を含む自閉症児のスノーキャンプ報告。

## 主な日程

### < 2月22日(金) >

- 18:00~19:00 受付(夕食は済ませてきてください)  
19:00~20:30 オープニングトーク  
20:30~21:00 オリエンテーション  
21:00~22:30 休憩・入浴(23:00就寝)

### < 2月23日(土) >

- 9:30~10:00 開会式(受付9:00~)  
10:00~12:30 分科会  
自閉症疑似体験, だからこそその支援  
「不登校」や「ひきこもり」状態を考える  
反社会的行為の現状を分析し, 行為に及ばせない支援の方法を考える  
発達の視点からみた自立とは  
支援をする自然体験施設の運営を考える  
12:30~13:30 昼食  
13:30~15:00 基調講演「アドベンチャーのなかで, その時その人は」  
15:30~18:00 分科会  
馬の学校とイルカ介在活動  
なんでもやってみるチャレンジ体験  
自然体験活動から学ぶ障害(児)者の支援活動  
カヌーをつうじて自立への取り組み  
心を育む食育の可能性  
アドベンチャー・グループカウンセリング  
自然体験活動の効果測定・評価  
自閉症の身体的(感覚)の基礎知識と自閉症児のスノーキャンプ  
18:30~20:30 ナイトセクション  
20:30~22:30 休憩・入浴(23:00就寝)
- ### < 2月24日(日) >
- 9:00~12:00 全体会  
12:00~13:00 昼食  
13:00~14:30 ふりかえり・まとめ  
14:30~15:00 閉会式(15:30解散)

## 申込期間

**平成19年12月1日(土)~2月4日(月)必着**

定員になり次第, 締め切らせていただきます。

受講内定者の二次案内通知につきましては, 申込期間終了後, 郵送にてお知らせいたします。

## 参加費

- (Aタイプ) 2/22(金)~2/24(日)2泊3日 参加費 5,500円  
(Bタイプ) 2/22(金)~2/23(土)1泊2日 参加費 4,550円  
(Cタイプ) 2/23(土)~2/24(日)1泊2日 参加費 5,080円

【内訳】食事代, ナイトセクション食事代, 湯茶代, シーツ洗濯代, 傷害保険代, 教材費  
当日受付にてお支払いいただきます。

< 保険内容 > 保険種類: 傷害保険

死亡・後遺障害	870万円
入院日額	10,000円
通院日額	5,000円

## 持ち物

参加費, 上履き, 洗面具, パジャマ類, 健康保険証(写しも可), 筆記用具

## 申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上, 下記の宛先まで郵送かFAX, またはE-mailに必要事項を送信の上, お申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は, 電話で着信の確認をお願いいたします。

E-mailでお申し込みの場合は, 件名に必ず「**青少年自立支援者事業**」の文字を明記してください。

当日, 無料送迎バスがご利用できます(時刻指定) ご希望の方は, 参加申込の際にお申し出ください。

### < 申し込み先・問い合わせ >

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家  
〒371-0101 群馬県勢多郡富士見村赤城山27

TEL 027-289-7224 FAX 027-289-7226 E-mail akagi19kikaku@niye.go.jp

担当: 事業推進課 横濱・柴崎・石原・小野

平成19年度 国立赤城青少年交流の家企画事業

## 『青少年自立支援者のための研究協議会』 参加申込書

申込日：平成 年 月 日

ふりがな 氏名			性別	男性・女性	年齢	歳
住所	〒  アパート名と部屋番号も必ずご記入ください。					
TEL	(自宅)		(携帯)			
FAX			E-mail アドレス			
活動団体名 又は所属名	統計にのみ利用させていただきます。ご協力をお願いいたします。					
A～Cのご希望の参加タイプを で囲んでください。			(A)	2/22(金)～2/24(日)2泊3日	参加費	5,500円
			(B)	2/22(金)～2/23(土)1泊2日	参加費	4,550円
			(C)	2/23(土)～2/24(日)1泊2日	参加費	5,080円
分科会 について、参加希望の分科会番号を希望順位別に で囲んでください。						
第1希望			第2希望			
分科会 について、参加希望の分科会番号を希望順位別に で囲んでください。						
第1希望			第2希望			

当日の交通手段について、送迎バス利用希望の場合は で囲んでください。

前橋駅～国立赤城青少年交流の家間の送迎バス(無料)を運行いたします。

送迎バス

- ・行き 2/22日(金)前橋駅発 18:00 国立赤城青少年交流の家着 18:40
- ・行き 2/23日(土)前橋駅発 8:30 国立赤城青少年交流の家着 9:10
- ・帰り 2/23日(土)国立赤城青少年交流の家発 20:35 前橋駅着 21:10
- ・帰り 2/24日(日)国立赤城青少年交流の家発 15:30 前橋駅着 16:10

## 【個人情報について】

本事業の参加申込手続きにおきまして、申込者から提出された個人情報を事業の事務手続き、及び広報調査に関する統計および事業案内の発送に付随する運營業務のために利用します。その取り扱いについては細心の注意を払い、厳重に管理します。予め申込者の同意がある場合、および法令等に基づき要請された場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

お申し込み、ありがとうございました。